

～旧約聖書を読んで感じること～ (72) ソロモンの夢

ソロモンは、父ダビデの叶えられなかった夢、神殿建設に、即位 4 年目に着手しました。レバノンから資材を輸入し、ダビデから受け取った設計図に従って施行しました。

ソロモン王はイスラエル全国に労役を課した。そのために徴用された男子は三万人であった。王は彼らを一人一人ずつ一月交替でレバノンに送った。またソロモンには、荷役の労働者が七万人、山で石を切り出す労働者が八万人いた。



そのほか、ソロモンには工事の責任を取る監督が三千三百人いて、工事に携わる民を指揮した。(列上 5:27) この費用には、ダビデが個人の財産である金銀を差し出し、また、部族長、軍の隊長、高官たちの、金、銀、青銅、鉄、宝石の莫大な寄贈により賄われました。神殿は奥行き 27m、間口 9m、高さ 14m の広さを持ち、外壁は石材、内壁はレバノン杉、床は糸杉、内陣は純金で覆い、内外の板戸には浮彫が施され、金箔がなされました。この内陣では「契約の箱」を巨大な天使ケルビムの像が守ります。神殿建設には 7 年の歳月が費やされました。完成後、ソロモンは奉献の祈りを捧げています。

神は果たして地上にお住まいになるのでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めすることができません。わたしが建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。わが神、主よ、ただ僕の祈りと願いを顧みて、今日僕が御前にささげる叫びと祈りを聞き届けてください。そして、夜も昼もこの神殿に、この所に御目を注いでください。ここはあなたが、『わたしの名をとどめる』と仰せになった所です。この所に向かって僕がささげる祈りを聞き届けてください。僕とあなたの民イスラエルがこの所に向かって祈り求める願いを聞き届けてください。どうか、あなたのお住まいである天にいまして耳を傾け、聞き届けて、罪を赦してください。(列上 8:27)

ソロモンのこの祈りをイエス様は心にとめ、神殿とは、「こう書いてあるではないか、『わたしの家は、すべての国の人の祈りの家と呼ばれるべきである。』」(マル11:17)と人々に語られました。

ソロモンのもう一つの夢は多くの女と交わることでした。まず、ソロモンはエジプトの王ファラオの婿となった(列上 3:1)と記されていますが、本当でしょうか。エジプトのような超大国が王女を人質のような境遇に送ることなど考えられないことです。エジプトの王女と言えば、この世の序列から言えば、第一王妃かもしれませんが、彼女の名前も記されていません。ソロモンは 700 人の王妃、300 人の側室がいて、政略結婚も必要だったのでしょう。ソロモンの母バト・シェバはスキャンダルがあり、日陰の立場だったのか、ソロモンの家庭には家族愛の様子が伺えません。ソロモンは娘タファトを海辺の高地ドル地方の知事の妻、バセマトをナフタリ地方の知事の妻として与え、王国に仕えさせました。



偶像に迷うソロモン G. B. Venanzi

ソロモン王はファラオの娘のほかにもモアブ人、アンモン人、エドム人、シドン人、ヘト人など多くの外国の女を愛した。(列上11:1)

ソロモンの後継者である息子レハベアムの母はアンモン人のナアマです。ソロモンの妻で名前が記されているのは彼女だけです。族長時代から妻は同じ信仰、同族の中から選ぶことが大事なことでしたが、ソロモンには同族の妻がいたとは全く記されていません。アンモン人はミルコム神、モレク神、アシェラ神を祀ります。ソロモンは女性たちに引き寄せられて、自らも高齢化とともに、偶像礼拝に至り、神の怒りを招きました。